

「発達障害のある子どもたちの学びに関わる問題」きっかけシート

まずは「知ること」から

社会問題とは何か、という問いにはさまざまな意見があります。
CO-BOでは社会問題を「社会のある構造が要因で不幸*が継続される状況」とします。
社会問題の中には、対象者がごく一部であるため認知されづらいものや、その構造が複雑で理解されづらいものがあります。また、問題解決のための特効薬があるわけでもなく、多くの組織や人が状況改善のために努力を続けている状況です。

CO-BOでは、そのような現象の中でも特に学びに関わるテーマについて「何が起きているのか」「どうして起きているのか」「なぜそれが問題なのか」という切り口から整理することで、社会問題を理解することをめざしています。

* 主に人権や公共の福祉が損なわれることを想定しています。

2015年度のCO-BOは、「発達障害のある子どもたちの学びに関わる問題」では、発達障害とは何なのか、その周辺にどのような問題があるのか、発達障害のある子どもたちの学びの問題を医療、教育、行政など各方面から取り上げ、専門家やサポートする方々の見解や取り組みを紹介しています。

http://berd.benesse.jp/special/co-bo/co-bo_theme3.php

本シートの目次

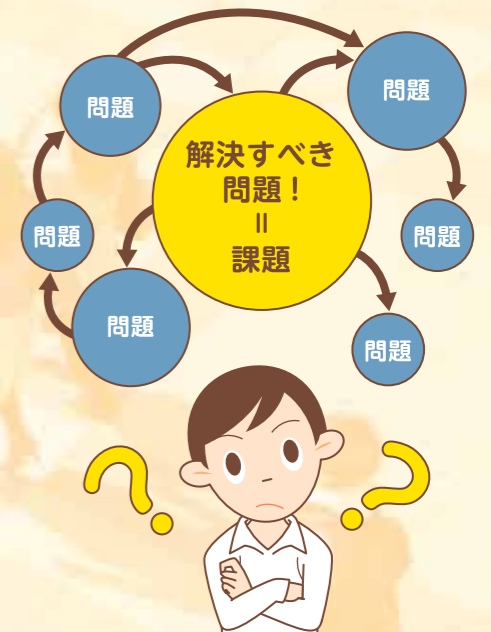
1. CO-BOのコンセプト
2. 発達障害とは何なのか？
3. 「発達障害のある子どもの学び」現状
4. 「発達障害のある子どもの学び」取り巻く環境
5. CO-BO「発達障害のある子どもの学び」に関わる社会問題の構造（仮説）

何を考えるかを考える

私たちの周りには、大小さまざまな問題があります。
ある問題は、他の問題の結果であったり、原因である場合もあります。
それらの問題の構造や内容をふまえ、解決すべきとした問題を課題とといいます。

学生時代は、特定の課題（何を考えるか）が与えられ、それを適切に解く力が求められる場合が多いでしょう。一方、実社会では課題は与えられるものではなく、自分自身で設定する必要があります。そして、適切な課題設定こそが、状況改善の重要なポイントになります。

そこで、CO-BOでは、特に社会に出る前の学生のみなさんが、学びに関わるさまざまな社会問題を知ること、進路の選択に限らず日々の生活を通して、何を考えるかを考える（課題設定）きっかけになればと、資料を作成しました。それが、この「きっかけシート」です。



本シートの最後に、CO-BOのコンセプトである「何を考えるかを考える」のステップを一例として提示しています。考え方を考える参考にしてください。

CO-BO「発達障害のある子どもの学び」に関わる社会問題の構造（仮説）

